

三協フロンテア株式会社

平成20年3月期中間決算説明会

2007年12月5日

SPACE
SERVICE

SPACE NAVI

U-SPACE

1. 平成20年3月期上期実績について
 - 1) ハイライト
 - 2) 業績推移
 - 3) 各事業の取り組みと実績
 - 4) 主な設備投資と減価償却費

2. 平成20年3月期通期の見通しについて
 - 1) 業績推移予想
 - 2) 各事業の見通しと取り組み

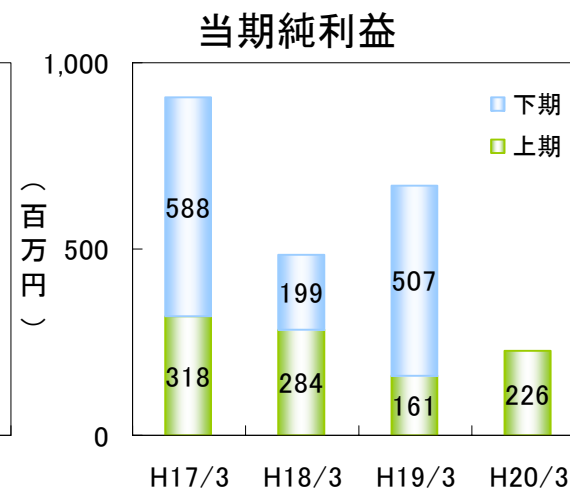
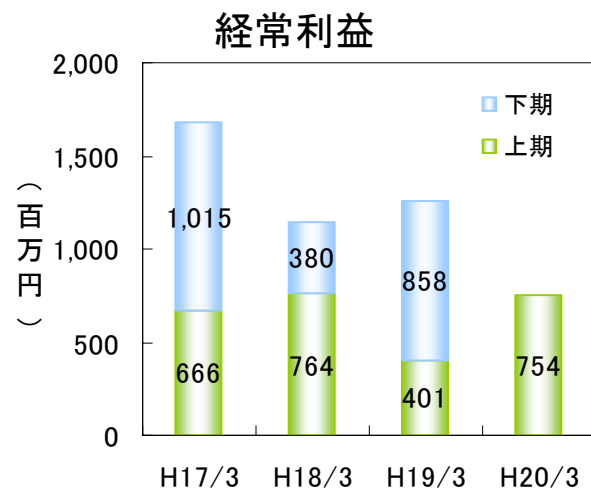
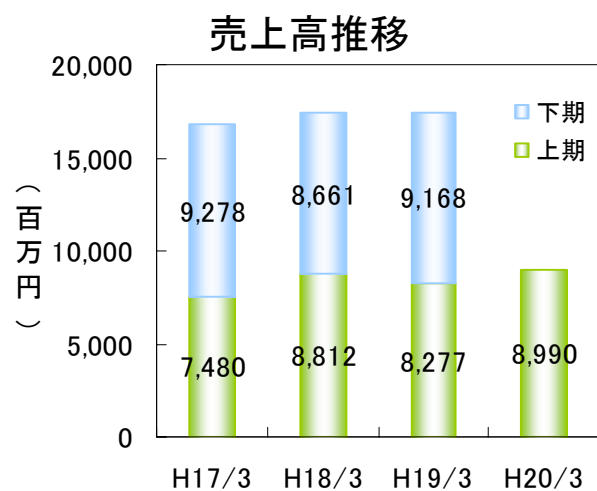
売上高8,990百万円(前年同期比8.6%増)
経常利益754百万円(前年同期比87.8%増)

改正建築基準法により建築審査が厳格化
レンタル出荷棟数は前年同期比並みの推移

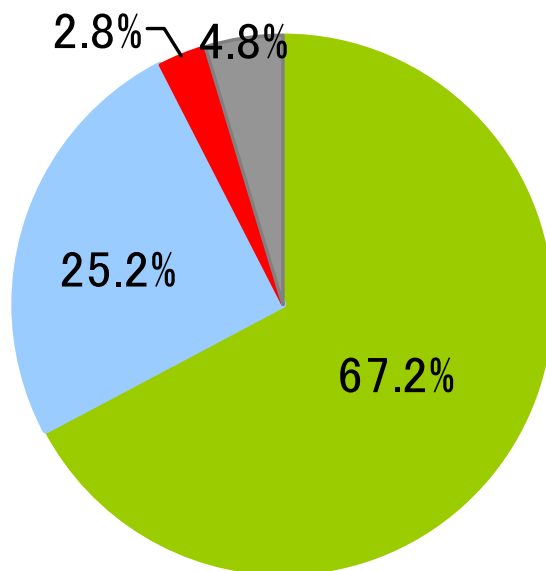
本建築物の販売は、営業力・製品力の強化により
大型物件の受注獲得につながりつつある

中間の業績推移 — 主なP/L項目 —

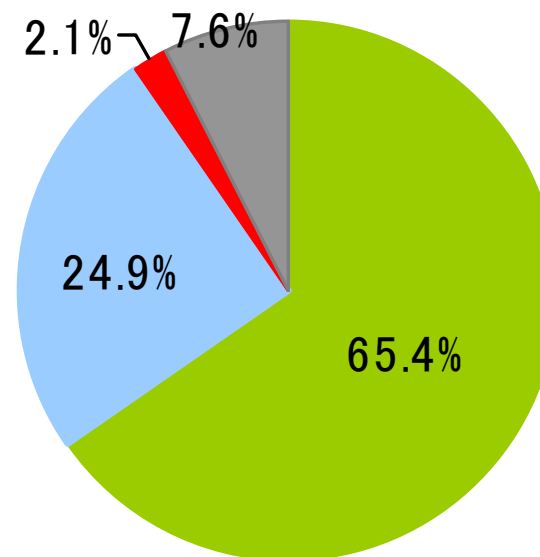
(百万円)	H20/3上期 実績	百分比	H20/3上期 計画	計画比	前年同期	前年同期比
売上高	8,990	100.0%	8,822	101.9%	8,277	108.6%
売上総利益	3,531	39.3%	3,475	101.6%	3,265	108.1%
営業利益	794	8.8%	697	113.8%	467	170.0%
経常利益	754	8.4%	636	118.6%	401	187.8%
当期(中間)純利益	226	2.5%	198	114.1%	161	140.8%







H19年3月期上期の売上構成比



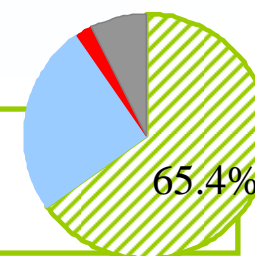
H20年3月期上期の売上構成比



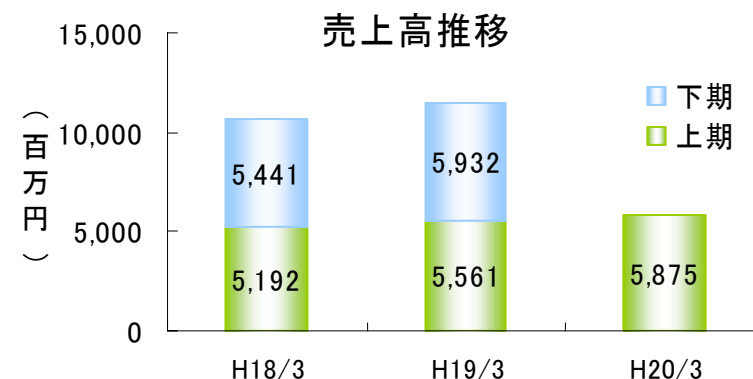
-  ユニットハウスのレンタル
-  ユニットハウスの販売
-  トランクルームのレンタル
-  その他

ユニットハウスのレンタル

主に、ゼネコン向けのユニットハウスのレンタル



(百万円)	H20/3上期 計画	H20/3上期 実績	計画比
レンタル売上	5,921	5,875	99.2%
期末稼働棟数	53,861	53,296	99.0%

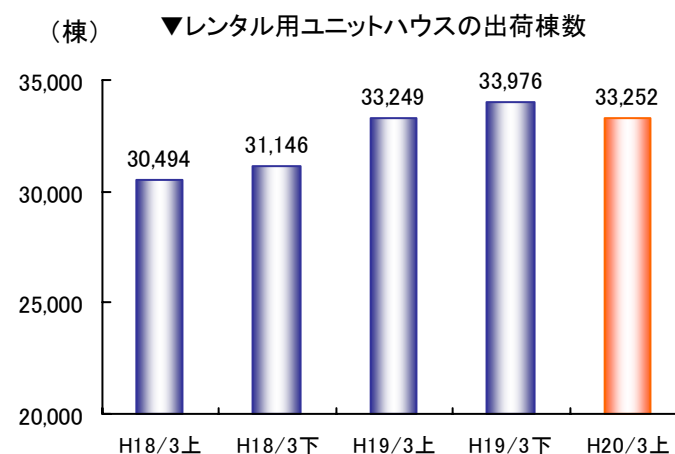


▼上期ポイント

①改正建築基準法の影響を受けたものの出荷棟数は前年同期比並み

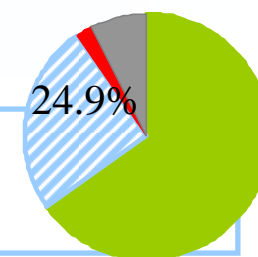
②出荷棟数(前年同期比)
新潟地区23%増・九州地区15%増

③稼働単価は、前年同期比並み

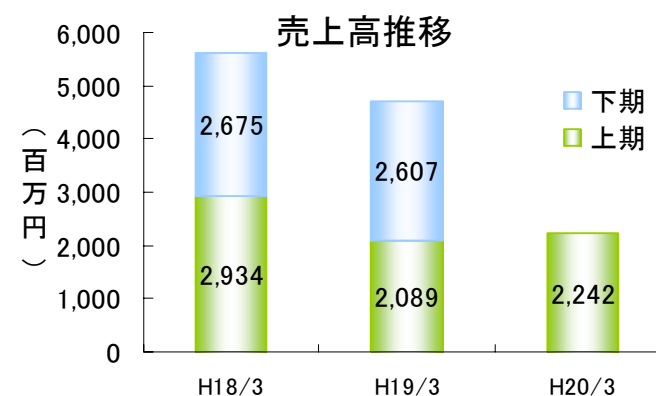


ユニットハウスの販売

一般消費者や中小企業向けに
ユニットハウスを販売



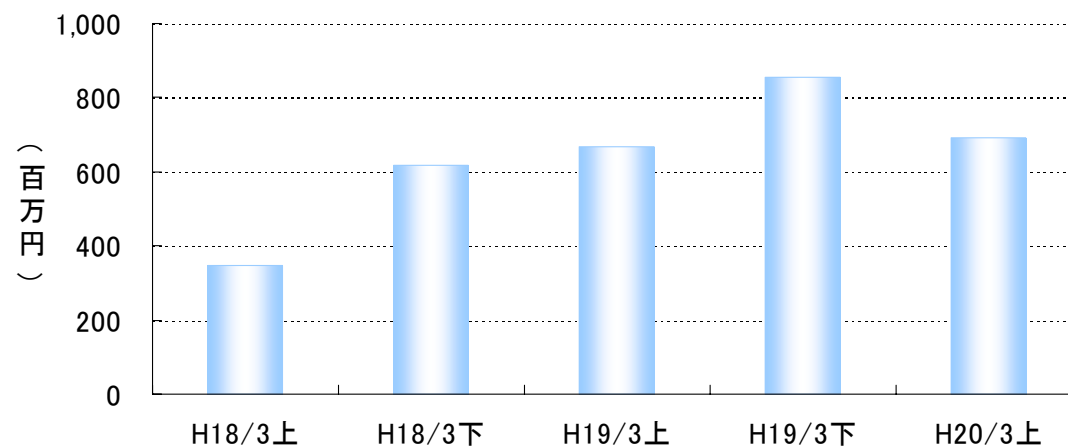
	H20/3上期 計画	H20/3上期 実績	計画比
売上 (百万円)	2,236	2,242	100.3%



■ 本建築物件の売上高推移

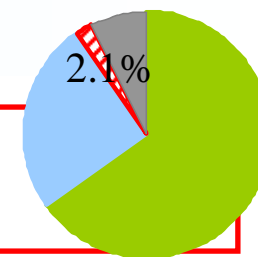
改正建築基準法の影響で
建築認可遅れる

→着工が遅れ、
完成が下期にずれ込む

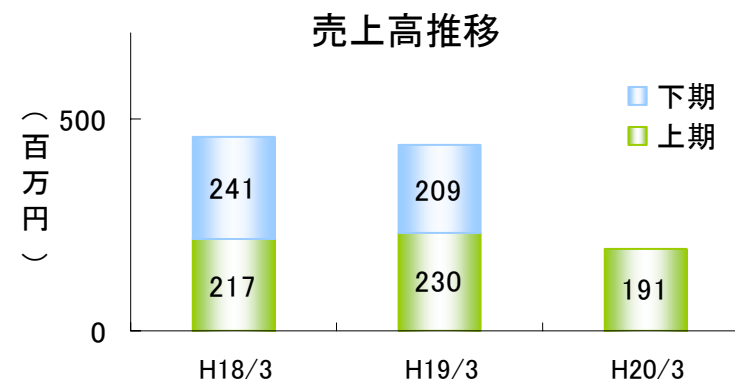


トランクルーム

一般消費者や法人向けに
収納スペースをレンタルするトランクルーム

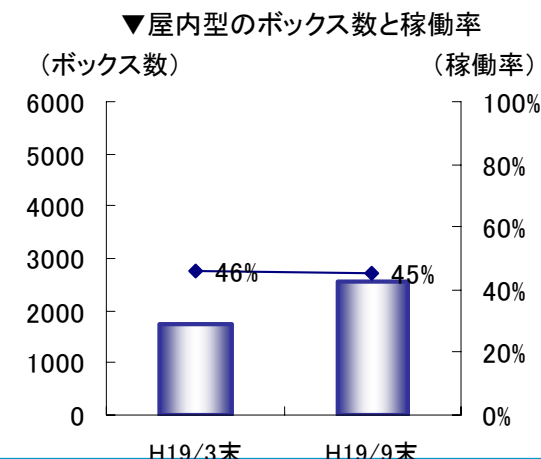
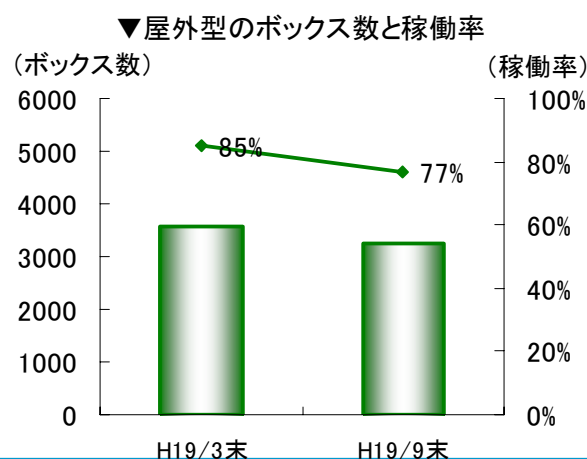


	H19/3上期 実績	H20/3上期 実績	計画比
売上 (百万円)	230	191	83.0%
期末ボックス数	5,696	5,821	102.2%
期末稼働率	75.0%	63.0%	84.0%



▼上期ポイント

- ①屋外型から屋内型へ
店舗の入れ替えを進める
- ②屋内型トランクルームの
稼働率は前期並みの推移



中間の業績推移 — 主なB/S項目 —

(百万円)

	H19/3	H19/9	
		金額	前期比
総資産	28,123	28,842	102.6%
棚卸資産	1,153	1,689	146.5%
レンタル資産	10,666	10,580	99.2%
土地	6,843	7,621	111.4%
純資産	16,004	16,083	100.5%
有利子負債	6,700	7,400	110.4%

関西地区に新たな物流センター用地を取得

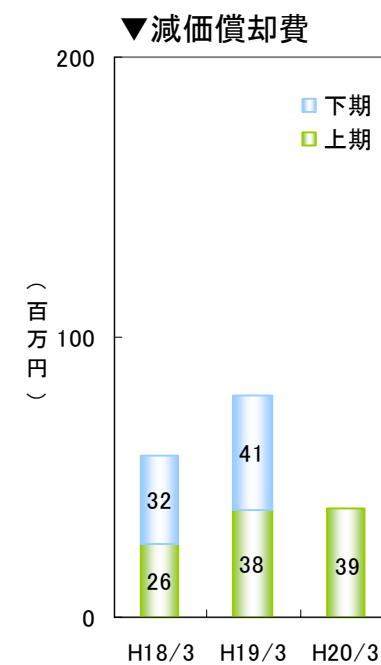
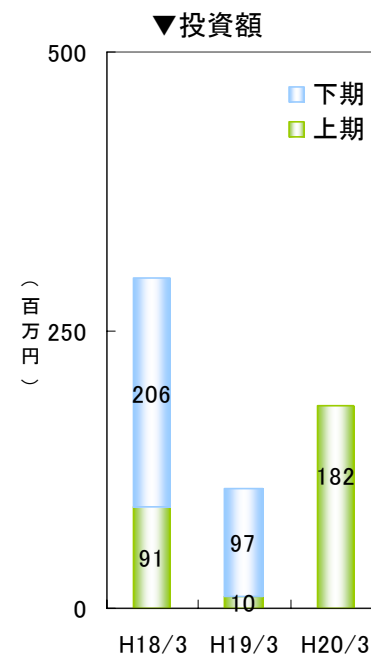
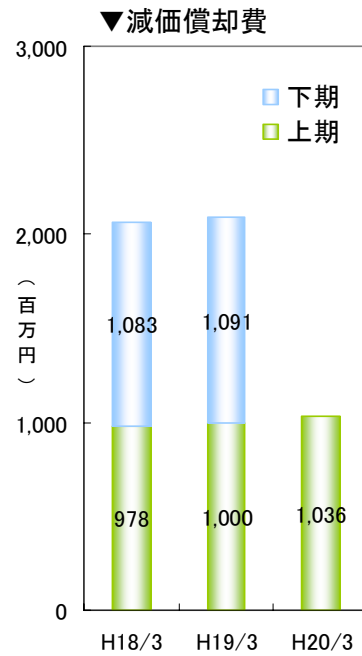
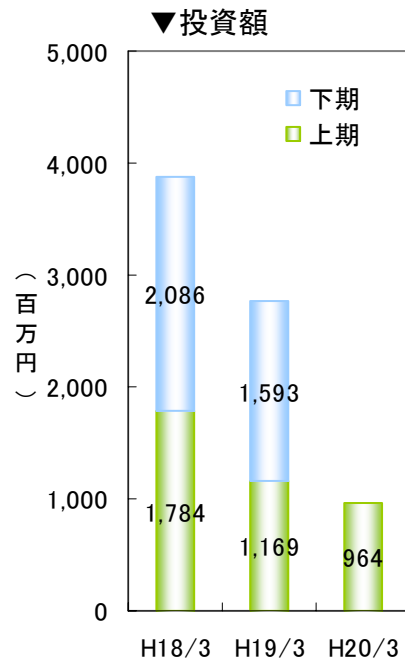
主な設備投資と減価償却費

▼ユニットハウスのレンタル

- ・ 建築確認の審査基準が厳格化したことによりレンタル資産への投入は当初予定より減少
(期初予算1,296百万円)

▼トランクルーム

- ・ 当初の出店計画通り進捗
(当初計画194百万円)



2. 通期の見通しについて

－ 建築業界の動向 －

改正建築基準法による建築審査厳格化・長期化

改正建築基準法の影響による工事の停滞

→住宅着工戸数7月以降大幅減

→店舗・事務所・工場等も着工面積大幅減

建築の停滞が関連業界を直撃

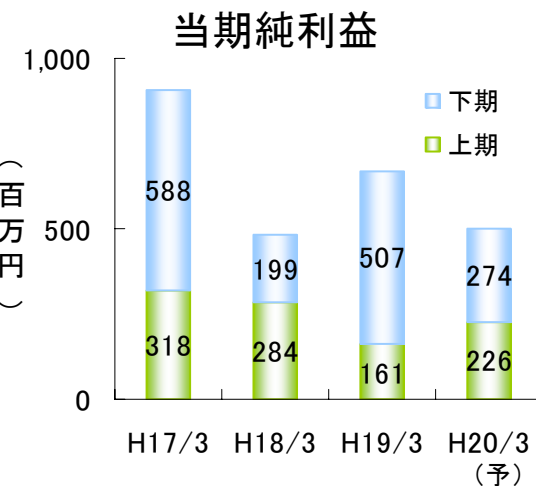
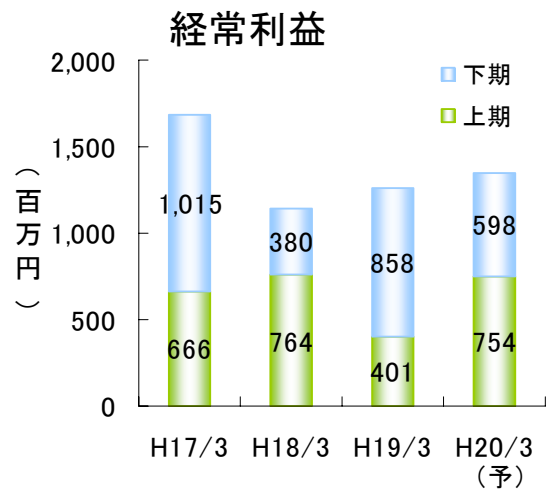
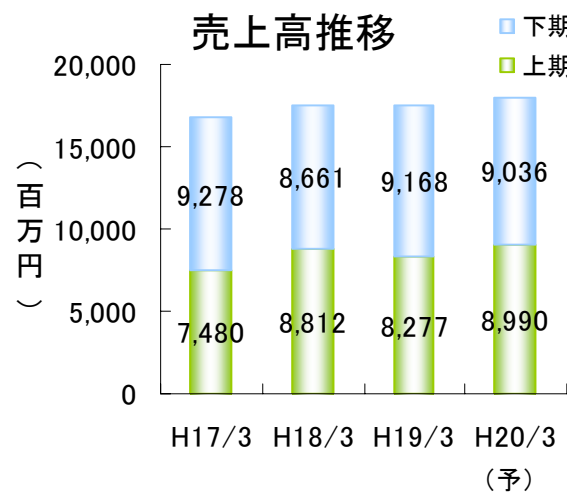
→相次ぐ業績下方修正

(住宅・建材・設備機器各メーカー・設計事務所・検査機関etc)

政府が建築関連中小企業の借入資金の返済保証を緊急支援

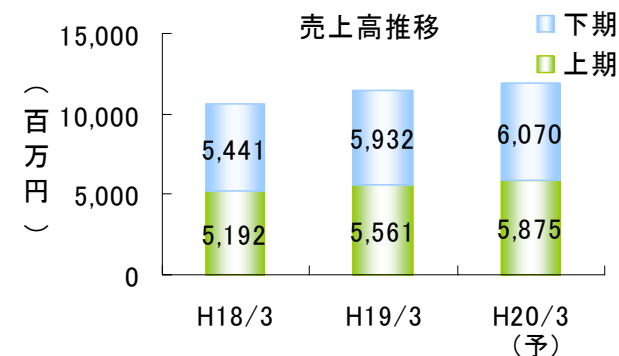
業績推移予想 — 主なP/L項目 —

(百万円)	H20/3通期 計画	百分比	前年同期	前年同期比
売上高	18,026	100.0%	17,446	103.3%
売上総利益	6,991	38.8%	6,920	101.0%
営業利益	1,474	8.2%	1,389	106.1%
経常利益	1,353	7.5%	1,260	107.4%
当期(中間)純利益	500	2.8%	668	74.8%



ユニットハウスのレンタル

(百万円)	H20/3 上期実績	H20/3 下期計画	上期対比	H20/3 通期計画	前年 通期実績
レンタル売上	5,875	6,070	103.3%	11,940	11,494
期末保有棟数	63,028	64,860	102.9%	64,860	63,024

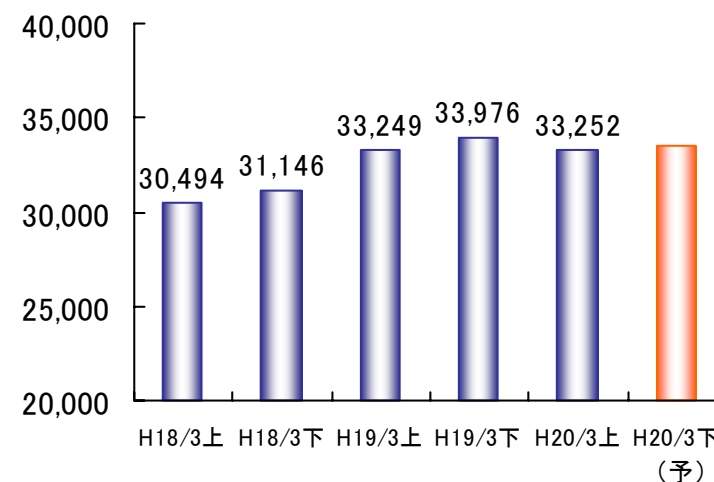


▼下期取り組み

改正建築基準法の影響の余波は残るが
出荷棟数は、前年並で推移する見込み

- ・大手ゼネコンを中心に営業を注力
- ・新製品の投入

▼レンタル用ユニットハウスの出荷棟数



新製品の投入

弊社の強みである「商品力」と「供給力」をさらに強化
シェア拡大のための新製品をリリース

ゼネコンが求める3つの要素

工期



即納体制

- ・保有棟数65000棟(予)
- ・トラック1台当たりの最大積載棟数を5棟から6棟へ
→輸送効率の向上

安全



安全施工

より安全な施工を実施

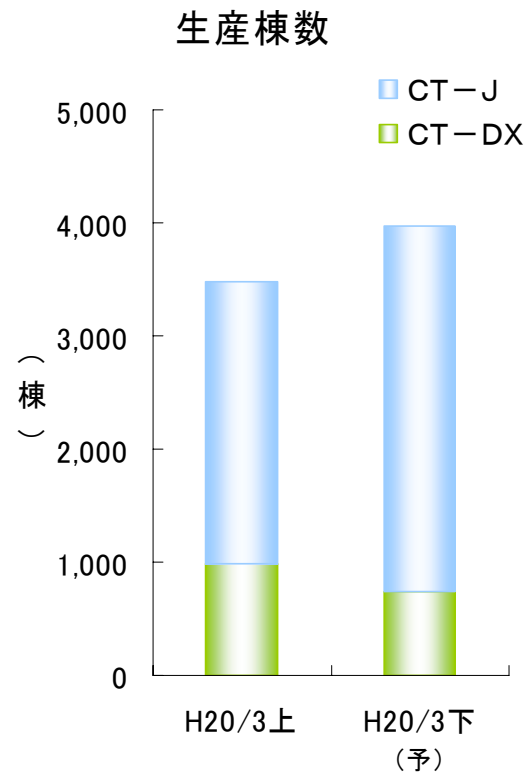
予算



低コスト化技術

生産・物流部門の効率化

新製品の投入 (COSMO CT-J)



建設現場事務所

都市部を中心に、大手ゼネコンの現場でニーズが高い



東京モーターショー

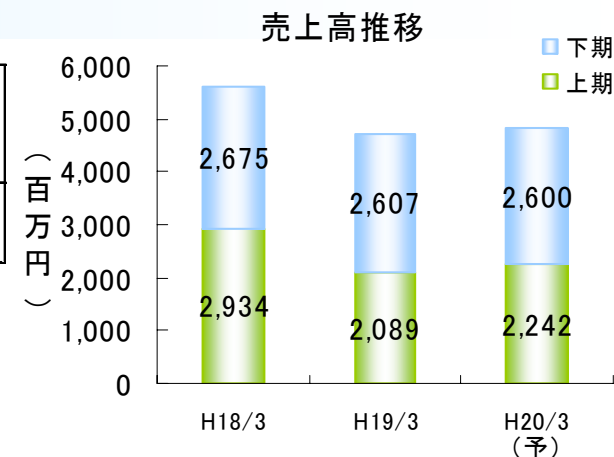
2日間で300棟以上のユニットハウスを設置



受付ブース、ショップ、休憩所、救護室、etc

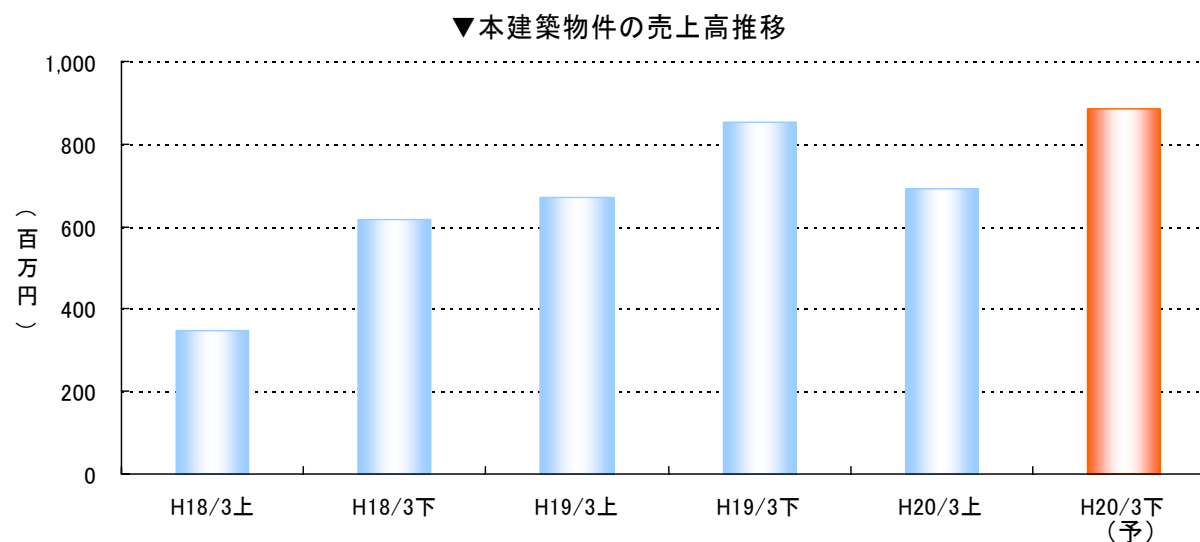
ユニットハウスの販売

	H20/3 上期実績	H20/3 下期計画	上期対比	H20/3 通期計画	前年 通期実績
売上(百万円)	2,242	2,600	116.0%	4,840	4,696



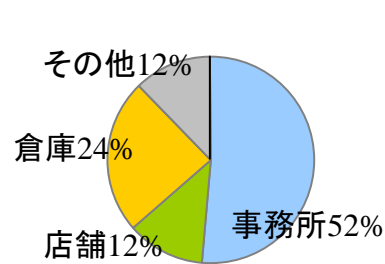
▼下期取り組み

「Quo(クオ)」を中心に
本建築物の受注拡大に
引き続き注力する

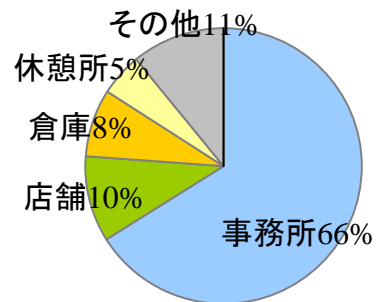


売上構成のイメージ

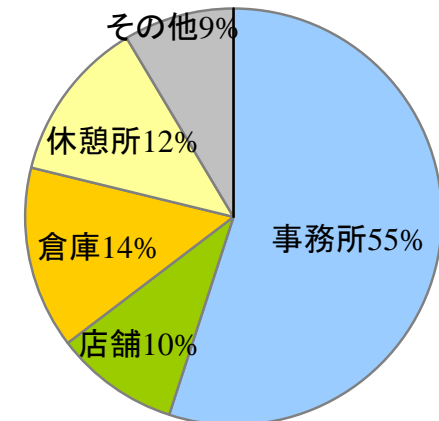
▼ 用途 — オフィスを中心に用途を拡大 —



平成18年3月期

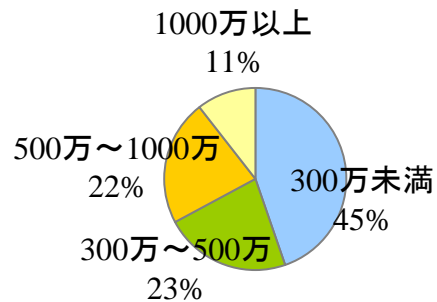


平成19年3月期

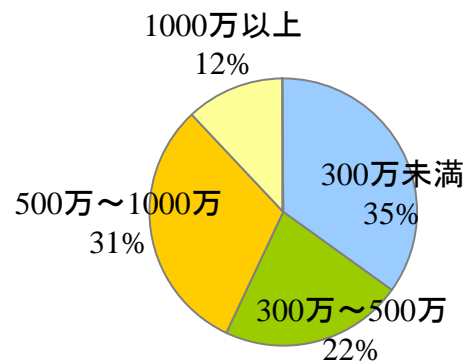


平成20年3月期上期

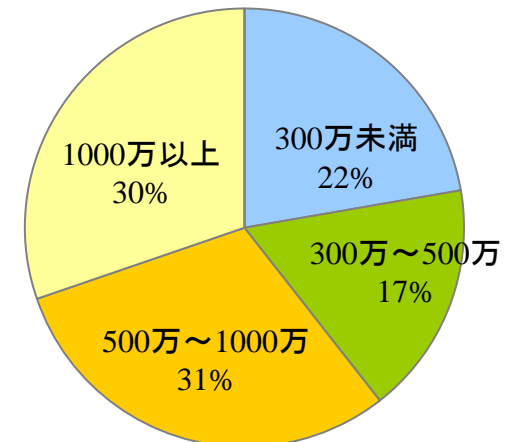
▼ 価格 — 1物件当たりの単価上昇 —



平成18年3月期



平成19年3月期



平成20年3月期上期

増築の例



▲ 2連平屋

事業の拡大にともない、1年後に増築。
お客様の空間ニーズにフレキシブルに
対応した例。



▲ 4連2階

三協フロンテア株式会社

決算説明会

<http://www.sankyofrontier.com/>

この配布資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性がありますので、ご承知おき下さい。